



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 日鉄物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9810 URL <https://www.nst.nipponsteel.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉永 茂弘 TEL 03-6772-5003
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,641,503	20.7	39,671	19.0	42,077	13.7	28,661	12.1
2022年3月期第3四半期	1,359,554	47.3	33,325	119.4	37,020	113.1	25,565	149.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 46,380百万円 (70.6%) 2022年3月期第3四半期 27,182百万円 (155.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	888.60	—
2022年3月期第3四半期	792.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,227,321	341,484	25.4
2022年3月期	1,100,441	308,198	25.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 312,327百万円 2022年3月期 282,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	160.00	—	190.00	350.00
2023年3月期	—	170.00	—		
2023年3月期（予想）				0.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△3.8	31,000	△12.5	961.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	32,307,800株	2022年3月期	32,307,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	53,369株	2022年3月期	52,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	32,254,778株	2022年3月期3Q	32,255,787株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、TDnetで2023年2月10日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢等を背景とした供給制約や、原燃料価格の高騰に伴うインフレの進行、及び金融引締め等により、先行き不透明な状況が続いております。

日本経済についても、ロシア・ウクライナ情勢やサプライチェーンの停滞がもたらす影響が懸念される状況となっております。

このような経営環境のもと、当社グループは中長期経営計画施策の実行に取り組み、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては前年同期と比較し、売上高は20.7%、2,819億円の増収となる1兆6,415億円となりました。営業利益は19.0%、63億円の増益となる396億円、経常利益は13.7%、50億円の増益となる420億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は12.1%、30億円の増益となる286億円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼セグメントの経常利益は、中長期経営計画施策の実行に加え、鋼材価格が前年同期に比べ上昇したことや円安等もあり、16.4%、52億円の増益となる376億円となりました。

(産機・インフラ)

産機・インフラセグメントの経常利益は、海外持分法会社の損益悪化等により、70.5%、19億円の減益となる8億円となりました。

(食糧)

食糧セグメントの経常利益は、輸入食肉の価格上昇や円安を背景とした食肉需要の減少等により、22.6%、5億円の減益となる19億円となりました。

(繊維)

繊維セグメントの経常利益は、事業環境のコロナ禍からの回復等により、22億円の増益となる15億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売上債権や棚卸資産の増加があり、前期末比1,268億円の増加となる1兆2,273億円となりました。

負債合計は、仕入債務や有利子負債の増加があり、前期末比935億円の増加となる8,858億円となりました。

純資産合計は、配当金支払があったものの、当第3四半期連結累計期間での親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末比332億円の増加となる3,414億円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本は3,123億円、自己資本比率は、25.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、2022年11月8日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,559	36,842
受取手形及び売掛金	562,518	623,853
電子記録債権	116,085	130,031
棚卸資産	200,104	233,108
その他	28,155	30,569
貸倒引当金	△1,428	△1,271
流動資産合計	935,995	1,053,132
固定資産		
有形固定資産	61,750	62,007
無形固定資産		
のれん	233	163
その他	680	774
無形固定資産合計	913	937
投資その他の資産		
その他	104,780	112,305
貸倒引当金	△2,998	△1,062
投資その他の資産合計	101,781	111,242
固定資産合計	164,445	174,188
資産合計	1,100,441	1,227,321
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	312,316	339,594
短期借入金	169,581	243,423
コマーシャル・ペーパー	85,000	90,000
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払法人税等	9,703	4,902
引当金	4,721	2,567
その他	39,507	48,365
流動負債合計	635,831	743,853
固定負債		
社債	65,000	65,000
長期借入金	81,019	65,128
引当金	512	545
退職給付に係る負債	3,398	3,450
その他	6,479	7,858
固定負債合計	156,410	141,982
負債合計	792,242	885,836

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,389	16,389
資本剰余金	54,358	54,044
利益剰余金	201,960	218,886
自己株式	△164	△168
株主資本合計	272,543	289,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,770	5,742
繰延ヘッジ損益	16	△1,109
為替換算調整勘定	5,765	18,140
退職給付に係る調整累計額	437	402
その他の包括利益累計額合計	9,990	23,175
非支配株主持分	25,664	29,157
純資産合計	308,198	341,484
負債純資産合計	1,100,441	1,227,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,359,554	1,641,503
売上原価	1,239,570	1,504,996
売上総利益	119,983	136,506
販売費及び一般管理費	86,657	96,835
営業利益	33,325	39,671
営業外収益		
受取利息	271	297
受取配当金	1,030	1,225
持分法による投資利益	3,058	3,170
仕入割引	459	528
その他	1,565	2,225
営業外収益合計	6,385	7,448
営業外費用		
支払利息	1,868	3,642
その他	822	1,399
営業外費用合計	2,690	5,042
経常利益	37,020	42,077
特別利益		
固定資産売却益	—	3,708
投資有価証券売却益	994	82
出資金売却益	15	152
債務保証損失引当金戻入額	79	—
特別利益合計	1,090	3,943
特別損失		
減損損失	—	2,015
投資有価証券売却損	68	10
投資有価証券評価損	75	261
出資金評価損	76	—
関係会社整理損	38	64
持分変動損失	—	115
特別損失合計	259	2,468
税金等調整前四半期純利益	37,851	43,552
法人税等	10,077	12,950
四半期純利益	27,774	30,602
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,209	1,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,565	28,661

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	27,774	30,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,308	1,247
繰延ヘッジ損益	△30	△719
為替換算調整勘定	2,472	12,065
退職給付に係る調整額	△97	△74
持分法適用会社に対する持分相当額	△628	3,258
その他の包括利益合計	△592	15,777
四半期包括利益	27,182	46,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,403	41,846
非支配株主に係る四半期包括利益	2,778	4,533

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り」について重要な変更はありません。

(日本製鉄株式会社による当社の普通株式に対する公開買付け)

当社は、2022年12月21日開催の取締役会において、日本製鉄株式会社による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、現時点における当社の意見として、本公開買付けが開始された場合には、本公開買付けに賛同する旨の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対し、本公開買付けに応募することを推奨する旨の決議をいたしました。

詳細に関しては、2022年12月21日公表の「当社のその他の関係会社である日本製鉄株式会社による当社株式に対する公開買付けの開始予定に係る賛同の意見表明及び応募推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	食糧	繊維	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,142,245	64,361	80,660	72,033	1,359,301	252	1,359,554	—	1,359,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	445	476	—	3	925	45	970	△970	—
計	1,142,691	64,837	80,660	72,037	1,360,227	298	1,360,525	△970	1,359,554
セグメント利益 又は損失(△) (経常利益又は経常損失)	32,346	2,768	2,556	△702	36,968	52	37,020	0	37,020

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	食糧	繊維	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,460,524	75,170	96,264	9,085	1,641,045	457	1,641,503	—	1,641,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	487	509	—	—	997	50	1,048	△1,048	—
計	1,461,012	75,680	96,264	9,085	1,642,043	508	1,642,552	△1,048	1,641,503
セグメント利益 (経常利益)	37,641	816	1,977	1,567	42,003	73	42,077	△0	42,077

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鉄鋼」セグメントにおいて、連結子会社の固定資産の収益性の著しい低下により、帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,015百万円であります。